

取扱いの趣旨

リポ蛋白の測定値は、コレステロール分画の測定値から類推でき、日常の脂質異常症の診療はコレステロール分画測定にて足りると考えられることから、リポ蛋白分画とコレステロール分画の併算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《平成18年3月27日》

27 リポ蛋白分画とコレステロール分画（併施）

○ 取扱い

原則として、リポ蛋白分画とコレステロール分画の併施は認められない。

○ 取扱いを定めた理由

脂質異常症は、血液中の脂質すなわちLDL-コレステロール（LDL-C）、HDL-コレステロール（HDL-C）中性脂肪（TG）のうち少なくとも一つが病的範囲にある状態をいう。日本動脈硬化学会では、脂質異常症の診断基準として、LDL-C140mg/dl以上、TG150mg/dl以上を挙げ、HDL-C40mg/dl未満を低HDL-C血症としている。また、同学会の動脈硬化性疾患予防ガイドラインはLDL-Cを重視し、患者を冠動脈疾患の有無とLDL-C以外の主要危険因子により4カテゴリーに分け、その脂質管理目標値に従った管理を推奨している。

一方、リポ蛋白は脂質と蛋白の複合体をさし、カイロミクロン、超低比重リポ蛋白（VLDL）、低比重リポ蛋白（LDL）、高比重リポ蛋白（HDL）が含まれる。ある種の病的状態で中間比重リポ蛋白（IDL）あるいはレムナントが増加する。

従来、脂質異常症の分類については、脂質代謝過程で障害されている経路や機構を把握する目的でリポ蛋白分画が測定され、Fredricksonの分類を改変したWHPの表現型分類が用いられている。しかし、実際の臨床の間では上記の日本動脈硬化学会の基準に基づいた診療が行われている。また、リポ蛋白は脂質値（コレステロール分画）やアポ蛋白値と相関して変動することが多く、コレステロール分画についてはその測定も容易であり、その測定値でリポ蛋白の値を類推できることから、日常の脂質異常症の診療はコレステロール分画測定にて足りると考えられ、原則として両検査の併施は認められない。

○ 留意事項

治療上必要となる場合は、当該理由を詳記することにより認められる場合もある。

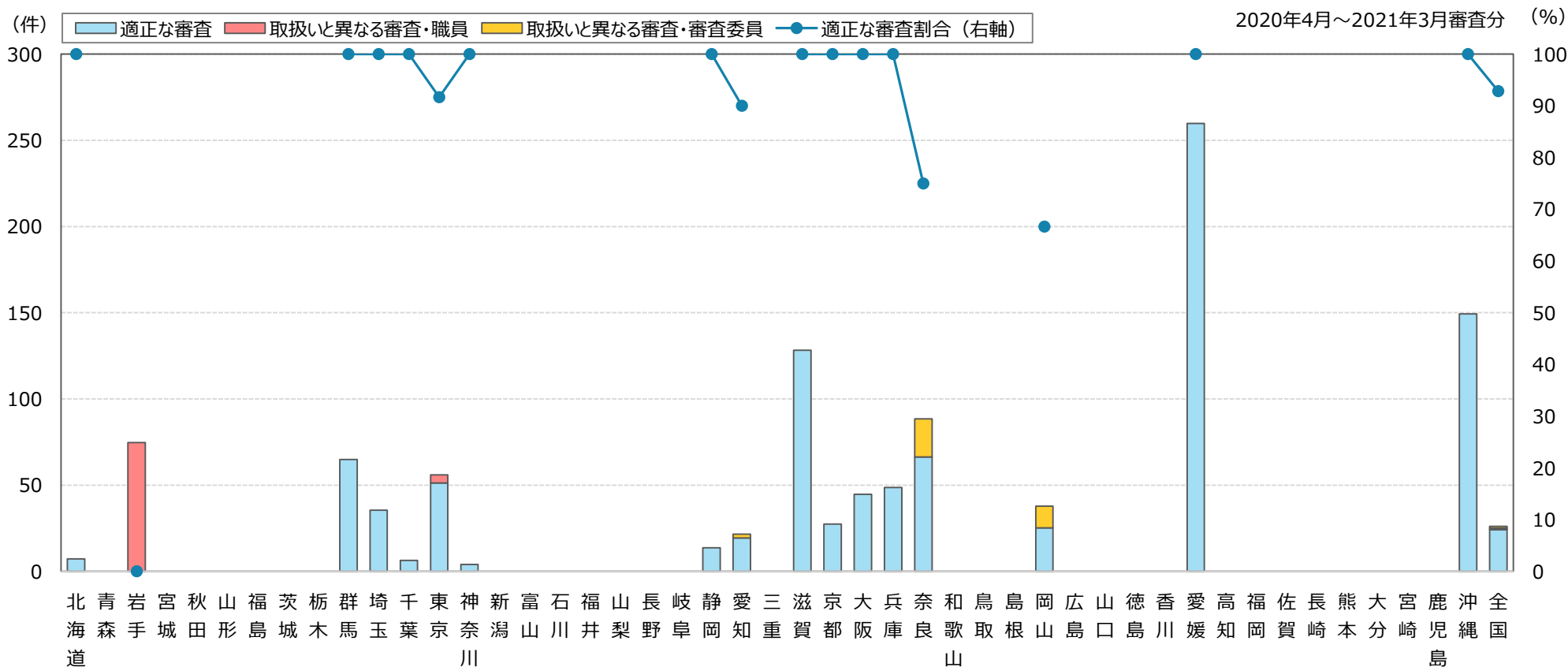
グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

リポ蛋白分画又はコレステロール分画を算定しているレセプト 1 万件当たり、条件（リポ蛋白分画及びコレステロール分画を同日に併算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

検証の結果、適正な審査をしている割合（全国 92.86%）



【該当件数】 リポ蛋白分画及びコレステロール分画を同日に併算定しているレセプト件数

検証結果及び対応状況

検証観点	特に検証を要する支部	備考
①査定・返戻割合が低い支部	岩手、静岡、岡山、奈良、愛知、東京	査定・返戻割合の低い順
②請求どおり・職員	岩手、東京	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	奈良、静岡、岡山、愛知	〃

○特に検証を要する支部の評価及び対応状況

①査定・返戻割合が低い支部

【適正な審査割合：100%】

■ 静岡

【適正な審査割合：100%未満】

■ 岩手、岡山、奈良、愛知、東京

②請求どおり・職員が多い支部

【取扱いと異なる審査：あり】

■ 岩手、東京

③請求どおり・審査委員が多い支部

【取扱いと異なる審査：なし（適正な審査）】

■ 静岡

【取扱いと異なる審査：あり】

■ 奈良、岡山、愛知

■①から③を通して、適正な審査と判断した主な理由

請求どおりと判断したレセプトは、家族性高コレステロール血症の患者で PCSK9阻害薬の投与が予定されている重症例であり、適正な審査と判断したものの ⇒対応なし

: 職員及び審査委員の認識誤り（取扱いの失念、不知等）
⇒上司の教育及び審査委員長から連絡・再周知により是正

: 職員の認識誤り（取扱いの失念、誤解等によるCCの解除）
⇒上司の教育により是正

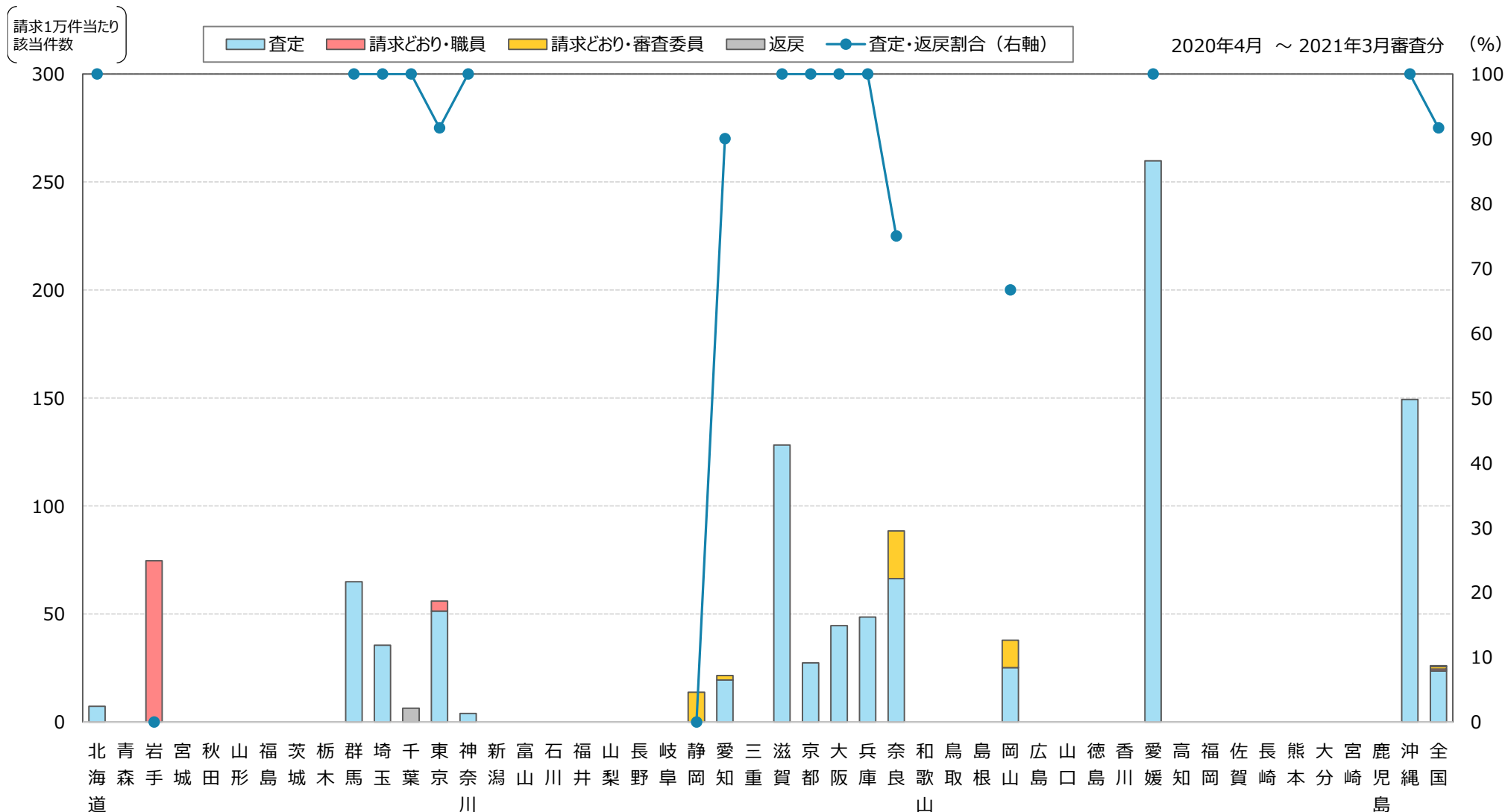
: 審査委員の認識誤り（取扱いの不知等により医学的判断を誤ったもの）
⇒審査委員長から連絡・再周知により是正

該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数84件のうち、**78件（92.86%）が適正な審査結果（検証前は91.67%）**
CCの解除等による誤処理が6件（7.14%）

⇒概評：請求どおり（7件）を検証の結果、適正審査と確認されたレセプトは傷病名やコメントから、家族性高コレステロール血症の重症例の患者に対し、双方の検査を必要とした事例であった。

支部	検証結果										
	該当件数 計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （CC解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定 返戻	査定 返戻 計	詳記等から 適正	請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
01 北海道	3	3	100.00%	3	0	3	0	0	0.00%	0	0
02 青森	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03 岩手	1	0	0.00%	0	0	0	0	1	100.00%	1	0
04 宮城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
05 秋田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06 山形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
07 福島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
08 茨城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09 栃木	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 群馬	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
11 埼玉	3	3	100.00%	3	0	3	0	0	0.00%	0	0
12 千葉	1	1	100.00%	0	1	1	0	0	0.00%	0	0
13 東京	24	22	91.67%	22	0	22	0	2	8.33%	2	0
14 神奈川	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
15 新潟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 富山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17 石川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18 福井	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 山梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 長野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21 岐阜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 静岡	1	1	100.00%	0	0	0	1	0	0.00%	0	0
23 愛知	10	9	90.00%	9	0	9	0	1	10.00%	0	1
24 三重	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 滋賀	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
26 京都	3	3	100.00%	3	0	3	0	0	0.00%	0	0
27 大阪	15	15	100.00%	15	0	15	0	0	0.00%	0	0
28 兵庫	9	9	100.00%	9	0	9	0	0	0.00%	0	0
29 奈良	4	3	75.00%	3	0	3	0	1	25.00%	0	1
30 和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32 島根	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33 岡山	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	0	1
34 広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35 山口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36 徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37 香川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38 愛媛	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
39 高知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40 福岡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41 佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42 長崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43 熊本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44 大分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45 宮崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46 鹿児島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47 沖縄	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
全国	84	78	92.86%	76	1	77	1	6	7.14%	3	3



該当件数	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	24	1	0	0	0	0	0	0	1	10	0	2	3	15	9	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	84
請求どおり件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7		

【該当件数】 リポ蛋白分画及びコレステロール分画を同日に併算定しているレセプト件数